科目名称	小児看護学方法論Ⅱ（健康障害に応じた看護）	学年学期	単位数	時間数
		2 学年後期	1	30
担当教員	井ノ上 眞由美・谷 春香・矢野　薫・西田　慎太郎	授業に関わる実務経験	■ 有 （ 看護師 ） □ 無	

【1】 授業概要

これまでに学んだ小児の健康障害や小児看護の知識を活用し、事例を用いて看護過程の展開を行うことで、健康障害をもつ小児と家族への個別性のある看護についての理解を深める。

【2】 学習目標

1. 健康障害が小児や家族に及ぼす影響を考え、それぞれの健康レベルや発達段階に応じた看護を説明できる。
2. 健康障害をもつ小児の治療・処置に伴う援助を具体的に計画できる。
3. 健康障害をもつ小児と家族に対する看護過程の展開ができる。（紙上事例）

【3】 第 2 看護学科ディプロマポリシーとの関連性

□ 1. 生活者としての人間の理解
□ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断･行動
■ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
■ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
■ 5. 多職種との連携･協働
■ 6. 地域医療の理解と生活の支援
■ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態	教員
1	小児の病気体験　児童虐待と看護	講義	井ノ上 眞由美
2	急性期にある小児と家族の看護	講義	
3	慢性期にある小児と家族の看護	講義	
4	隔離・活動制限が必要な小児と家族の看護	講義	
5	小児がんの小児と家族の看護　看護事例を考える	講義	
6	ＮＩＣＵ看護(1)	講義	谷 春香
7	ＮＩＣＵ看護(2)	講義	
8	川崎病患児の看護過程(1)	講義	井ノ上眞由美
9	川崎病患児の看護過程(2)	講義	
10	川崎病患児の看護過程(3	講義	
11	事故・外傷・終末期の小児と家族の看護	講義	
12	周手術期にある小児と家族の看護	講義	西田慎太郎
13	心身障害のある小児と家族の看護	講義	井ノ上眞由美
14	重症心身障害児の療育支援	講義	矢野　薫
15	筆記試験･まとめ		

【5】 評価方法

筆記試験（90%）、態度や提出物（10%）で総合的に評価する。

【6】 教科書

奈良間美保:系統看護学講座　専門分野　小児看護学概論 小児臨床看護総論（第 14 版）医学書院　2022
奈良間美保:系統看護学講座　専門分野　小児臨床看護各論（第 14 版）医学書院　2022
北島正樹:系統看護学講座　別巻　臨床外科看護各論　（第 9 版）医学書院　2022

【7】 参考書

浅野みどり：根拠と事故防止からみた小児看護技術，医学書院

【8】 受講生へのメッセージ

子どもの疾患に特有な看護をより具体的に、より実践的に学習していきます。また、虐待や不登校といった問題についても学習していきましょう。